

富山県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定について

1 趣旨

ギャンブル等依存症は、早期の支援や適切な治療により回復が可能であるにもかかわらず、本人が病気であることの認識を持ちにくく、相談や支援につながりにくい状況にある。また、ギャンブル等にのめり込むことにより、本人及び家族の日常生活や社会生活に支障が生じるだけでなく、多重債務や犯罪等の重大な社会問題につながる場合がある。

こうしたことから、ギャンブル等依存症対策基本法（H30.10 施行）に基づき、都道府県は「ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定し、国の計画を基本として、都道府県におけるギャンブル依存症対策の推進に関する計画の策定に努めることとされた。

このたび、富山県においても、本県の実情に即した「富山県ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定し、本県におけるギャンブル等依存症対策を総合的かつ計画的に推進する。

（国の状況）

- H30. 7 ギャンブル等依存症対策基本法成立（H30.10 施行）
- H31. 4 「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」策定
- R4. 3 計画策定後の状況の変化を勘案し、基本計画を変更

2 計画の位置付け

ギャンブル等依存症対策基本法第 13 条第 1 項に基づく、都道府県ギャンブル等依存症対策推進計画

3 計画期間

令和 5 年度から令和 7 年度（3 年間）

4 県計画策定の体制

富山県ギャンブル等依存症対策関係者会議を設置し、ご意見を伺いながら、令和 4 年度中に県計画を策定する。